

まみつ市議会 だより

157号

令和6年8月1日発行

CONTENTS

- 2 第2回定例会のあらまし
- 4 議案等の審議結果
- 5 一般質問Q&A
(13議員が質問)
- 11 委員会の焦点



第2回定例会

発行／君津市議会
編集／きみつ市議会だより
編集委員会



ようこそ議場へ!!
小学生の議場見学



君津市
マスコットキャラクター
きみぴん

周西の丘小学校（6月13日）、八重原小学校（6月28日）及び小櫃小学校（7月16日）の3年生（総勢157名）が、議場見学に訪れました。

子ども達は初めて訪れる議場で、議員の定数、議会の役割や議場での審議について、学びました。

また、市議会の雰囲気を感じてもらうために、実際に議席に着席してもらい、質問の際には質問席に立ち「どうしたら議員になれるのか」など、子ども達から活発な質問が行われました。

令和6年

第2回定例会のあらまし

一般会計補正予算、特別委員会の設置など 議案 16 件、陳情 2 件を議決

第2回定例会は、5月31日から6月21日までの22日間の会期で開かれました。

今定例会では、初日に令和6年度君津市一般会計補正予算（第1号）及び議員提出の特別委員会設置に係る2議案を審議し、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決されました。

また、最終日には君津市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定など市長提出の11議案、委員会提出の2議案、陳情2件を審議し、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決・採択されました。

一般質問では13人が登壇し、市政運営等について、活発な議論が展開されました。

主な日程

第2回定例会（5～6月）

5/31(金)	本会議（招集日） 諸般の報告・会期の決定 議案等の上程・議案の一部採決など
6/5(水)	本会議 一般質問
6(木)	
7(金)	本会議 一般質問、追加議案の上程、 委員会付託
12(水)	教育福祉常任委員会
13(木)	総務常任委員会
14(金)	建設経済常任委員会
21(金)	本会議（最終日） 委員長報告、質疑、討論、採決、追加議案の審議など

本会議における主な討論

反対

新型コロナウイルスワクチン接種事業について、ワクチン接種による健康被害が出ていることから、接種事業を続けることに関して強く反対する。

議案第10号

令和6年度
君津市一般会計補正予算
(第2号)



賛成

キャッシュレス決済を通じた消費喚起事業については、物価高騰に対して市民の生活を支援するとともに消費喚起につながり、効果があったものと理解する。

また、事業の見直しによる支出の削減、補助金や寄付金などを財源とし、事業の充実を図る取組も多くみられる。

主 な 事 業 を 紹 介 し ま す

今定例会では、【議案第1号・10号～12号】君津市一般会計補正予算（第1～4号）に係る議案の審議を行いました。主な事業は以下のとおりです。

低所得世帯物価高騰対応重点支援給付金 給付事業

1億7,782万8千円

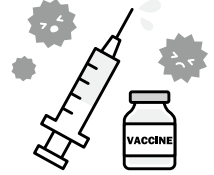
新たに令和6年度個人住民税が非課税となる世帯及び均等割のみ課税となる世帯に対し、1世帯当たり10万円を給付します。また、当該世帯にいる18歳以下の子ども1人当たり5万円を給付します。



成人感染症予防事業

1億4,811万5千円

新型コロナウイルスワクチン定期接種（原則65歳以上）に必要な経費を増額します。



校舎等維持補修事業

435万6千円



振興備品購入事業

295万7千円



きみつSDGs 教育推進事業

300万円



合計1,031万3千円

※寄附金額1,000万円

寄附金を活用し、市内小中学校に遊具や教育振興のための備品を購入するとともに、さかなクンとコラボした「きみつSDGs×つながる山・川・海学習プログラム」を行います。

保健福祉センター管理運営事業

4,154万7千円

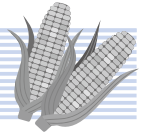
保健福祉センターふれあい館の空調設備（空冷ヒートポンプチャラー）が、故障したため修繕します。



定額減税調整給付金給付事業

6億3,581万1千円

個人住民税・所得税から定額減税しきれないと見込まれる方に、給付します。なお、定額減税による個人市民税減収分については、地方特例交付金により補填されます。



出席議員全員が賛成した議案、陳情（全会一致）

◆市長提出議案

議案番号	件名
議案第1号	令和6年度君津市一般会計補正予算（第1号）
議案第2号	君津市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第3号	君津市専用水道の水道技術管理者の資格を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案第4号	君津市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案第5号	君津市福祉作業所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第6号	君津市国保診療所に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第7号	君津市税条例の一部を改正する条例についての専決処分の承認を求めることについて
議案第8号	君津市都市計画税条例の一部を改正する条例についての専決処分の承認を求めることについて
議案第9号	君津市国民健康保険税条例の一部を改正する条例についての専決処分の承認を求めることについて
議案第11号	令和6年度君津市一般会計補正予算（第3号）
議案第12号	令和6年度君津市一般会計補正予算（第4号）

◆議員提出議案

議案番号	件名
発議案第2号	公共交通及び公共施設等調査特別委員会の設置について
発議案第3号	地域共生社会推進特別委員会の設置について

◆委員会提出議案

議案番号	件名
発議案第4号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について
発議案第5号	国における2025年度教育予算拡充に関する意見書について

◆陳情

陳情番号	件名
陳情第1号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する陳情書
陳情第2号	「国における2025年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情書

賛否の分かれた議案

◆市長提出議案

議案番号	件名	議決結果	令和新政					創政会					きみつ未来		公明党		新派							
			小倉靖幸	小倉広紀	大和ヒロシ	天笠等	鶴岡一成	奈良輪政五	三浦章	大滝浩介	四宮安彦	鈴木高大	下田劍吾	保坂好一	高橋明	小林喜久男	瀧武琢也	石上壘	松本裕次郎	高橋健治	佐藤葉子	野上慎治	三浦道雄	林祥子
議案第10号	令和6年度君津市一般会計補正予算（第2号）	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

※議長は、地方自治法第116条の規定により、採決に加わっていません。

表の見方 ○：賛成 ●：反対



市政を問う!

一般質問

Q & A

第2回定例会では、13人の議員が一般質問を行いました。各議員の質問の大綱については下記のとおりです（通告順）
マーカーの項目は、本文に内容を掲載しています。
なお、掲載記事は、質問した議員自らの寄稿によるものです。

小倉 広紀 議員

P.6

令和新政

- ・子育て環境の整備について
- ・より良い学校環境の整備について
- ・防災力の向上について
- ・有害鳥獣対策について
- ・市職員等の働き方について

佐藤 葉子 議員

P.6

公明党

- ・納税環境の整備について
- ・安心して暮らせるまちづくりについて
- ・命を守る災害対策について

大和 ヒロシ 議員

P.6

令和新政

- ・快適で安心して暮らせるまちについて
- ・誰もがいきいきと生活できる地域共生のまちについて
- ・経済と環境が調和したまちについて
- ・デジタル化の進展について
- ・本市ならではの魅力や資源を活かした誘客について
- ・ともに創る次世代につながるまちについて

石上 壘 議員

P.7

きみつ未来

- ・保育環境の充実について
- ・安全安心な住環境について
- ・安全で快適な道路環境について
- ・中学校の部活動について
- ・カーボンニュートラルの実現に向けて

大滝 浩介 議員

P.7

創政会

- ・住民の福祉をより豊かにするために
- ・子育てが日本一楽しいと思えるまち「きみつ」を目指して
- ・持続可能な公共交通を目指して
- ・誰もが安心して暮らせるまち「きみつ」を目指して
- ・経済と環境が調和したまち

四宮 安彦 議員

P.7

創政会

- ・住み続けられる君津市について
- ・JR久留里線及び沿線地域について

高橋 健治 議員

P.8

公明党

- ・防災減災対策について
- ・誰もが実感できるDXによる改革について
- ・ごみの減量化の取組について
- ・道路整備について

保坂 好一 議員

P.8

創政会

- ・教育行政について
- ・安心して暮らせるまちについて

三浦 道雄 議員

P.8

諸派・日本共産党

- ・市長の政治姿勢について
- ・医療・福祉行政について
- ・環境行政について

野上 慎治 議員

P.9

公明党

- ・地域共生社会の推進について
- ・こどもの孤立・不登校対策について
- ・空き公共施設の活用について

下田 剣吾 議員

P.9

創政会

- ・市長公約について
- ・犯罪被害者の支援について
- ・経営改革について
- ・スポーツによる健康とにぎわいの創出について
- ・消防団と家族を支援するために

天笠 等 議員

P.9

令和新政

- ・ファシリティマネジメントの推進について
- ・行財政マネジメントについて
- ・文化振興について
- ・交通行政について
- ・道路行政について
- ・自治会活動について

林 祥子 議員

P.10

諸派・希望にみらい

- ・市内の産業廃棄物処分場について
- ・安心安全な食の取組について
- ・薬害がおきているワクチン接種について



令和新政
小倉 広紀 議員

子育て環境の整備

Q 県内初となる保育園留学をかずさあけぼの保育園で開始されたが、現時点での実績及び利用者の声はどのようなものであったか。また、受入れ枠の拡大はいつ頃になるか、併せて伺う。

A 本事業は、保育園での一時預かり、宿泊、ワークスペースの提供をパッケージ化した短期移住体験プログラムである。野菜の収穫体験や自家製ピザ窯での調理体験等、都心の保育園では体験できないような活動を提供している。利用実績としては、これまで3組のご家族に体験いただいております。今後は8月までに予約上限に近い7組の受入れを予定。また、新たに清和こども園での受入れ準備も進めている。

市職員等の働き方

Q 県内ではハラスメント条例を定めた自治体もある。ハラスメント対策は動き始めており、君津市が先進事例となるチャンスであるが、見解を伺う。

A ハラスメントは、個人としての尊厳を不当に傷つける社会的に許されない行為であり、職員の健康や職務能率等に悪影響を与え、職場の士気や秩序の悪化を招き、ひいては公務の信頼性を失墜させるものである。平成25年4月より「君津市職員のハラスメントの防止に関する規程」に基づき、防止及び排除に努めている。



公明党
佐藤 葉子 議員

介護保険制度を持続可能なものとするために

Q 利用者に合ったサービスを提供するためには、幅広い知識等を持つ介護支援専門員の存在が欠かせないが、業務や資格更新の負担が重く、人材不足が懸念される。本市の実態と対策を伺う。

A 本市に所在する居宅介護支援事業所の介護支援専門員は減少傾向にある。負担を軽減するため、状況把握に努め、国や県に対し、業務等の改善を働きかけ、人材が不足しないよう取り組む。

障がい者福祉タクシー券の改善

Q 外出の後押しとなるよう、一度の乗車の利用枚数制限を撤廃しないか伺う。

A 状況等を踏まえながら、より利用しやすい制度となるよう取り組む。

市役所窓口等での「軟骨伝導イヤホン」導入を

Q 老眼鏡の設置とともに聞こえのサポートとし「軟骨伝導イヤホン」が自治体や金融機関で広がっているが、本市での導入について伺う。

A 窓口で円滑なコミュニケーションが図れるよう、軟骨伝導イヤホンの効果について調査・研究する。

福祉避難所へのダイレクト避難の促進

Q 福祉避難所のガイドラインを示すとともに直接避難を促進すべきだが、見解を伺う。

A 個別避難計画のプロセス等を通じて、事前に福祉避難所ごとの受入れ対象者の調整を行う。



令和新政
大和 ヒロシ 議員

六手・貞元線の小さな公園、管理して頂けます？

Q 現在放置された状態のものがほとんどとなつてしまっているポケットパークについて、現在の管理状況と今後の対策を伺う。

A 市道六手・貞元線ほか2路線に10か所整備したポケットパークは、完成後、地元住民や団体等が維持管理していたが、現在は管理団体が解散し、職員が草刈り等を行っているものの、十分な管理が行き届いていない状態となっている。今後は良好な景観を保つための対策を検討するなど、道路環境の保全に取り組んでいく。

公民館の規約は明確であるべき

Q 公民館を利用する際の様々なきまり。それらのきまりには明確な規約が設けられていないものもあるため、対応する職員によって対応が異なることもあり、誰もが利用する施設として適切ではないように感じる。市の見解を伺う。

A 公民館の利用規程には社会教育法や君津市公民館規則などがあり、その詳細については全公民館で協議し、貸出判断方針を取りまとめ、各公民館で判断基準にそが生じないよう努めている。今後、公民館の利用について、対応案を積み重ね、各公民館や館内職員で共有を図ることにより、統一的な対応ができるよう努めていく。



きみつ未来
いしがみ
石上 墨 議員

待機児童の解消・休日保育の実施

Q 待機児童の推移と一時保育の状況及び休日保育の制度について伺う。

A 近年、年度当初の待機児童はゼロを達成しているが、令和5年度末には3歳未満の低年齢児を中心に82人発生したことから、入所しやすい環境づくりとして小規模保育園の募集を開始し一時保育についても、対応を8園から10園に拡充した。また、7月より市内初の休日保育をみふねの里保育園で開始し、1日10人程度の利用を見込み、インターネット予約の導入により利便性向上を図る。

自転車通行空間の整備

Q 自転車通行空間の整備形態を示した計画の策定状況について伺う。

A 計画策定はしていないが、市道塚原・中島線では、路面標示により自転車通行空間を整備し、今後、1.5m以上の路肩を有する路線についても路面標示を行うなど道路環境の整備に努める。

休日部活動の地域移行

Q 休日部活動の地域移行の取組状況を伺う。

A 地域移行については、試験運用により取り組みを促している。バランスのよい体力づくりを目指し、「陸上競技」を12月から月2回程度、展開する予定であり、指導者や活動場所、日程など選定を進めている。



創政会
おおたき
大滝 浩介 議員

指定管理者制度

Q 指定管理者制度について、最低賃金の上昇や物価高騰を踏まえ、適切な運営管理には雇用・労働条件の改善が必要と考える。「賃金水準スライド」を用い、年度毎の見直しを行う自治体もあるが、見解を伺う。

A 指定管理料は、施設の運営基準、職員配置、過去の実績等を十分に精査し、査定している。想定範囲を超えた社会情勢の変化による人件費等の経費の増加は、施設運営等に支障がないよう必要に応じ協議する。

Q 近年で利用料収入が減少した際の補償内容と想定を超えた物価高騰等への対応を伺う。

A 基本的には期間中の指定管理料は変更しないが、令和3年度に2施設で、感染症感染拡大防止のための市からの休館要請等に伴う、利用料収入の補償を行った。また、想定を超えた変化により、収支が赤字となった場合などは、総合的に判断し補償を協議する。

自然環境保育認証制度の推進

Q 幼児期における自然との関わりは、成長に多大な影響を与える。自然環境を活かした保育について、今後の方針を伺う。

A 自然環境保育認証制度は、本市の保育方針に合致し、保育環境の質の向上につながることから、他の公立園でも取得を目指す。



創政会
しみや
四宮 安彦 議員

ふるさと納税強化

Q 自由で自立した自治体を目指すのであれば、歳入を増やすか、歳出を減らすかどちらしかないと考えます。歳入を増やす方法として、ふるさと納税はまだまだ改善の余地が大きく見えるが、見解を伺う。

A これまでふるさと納税の推進については、返礼品掲載サイトの拡充や魅力ある返礼品の新規開拓に重点を置いて取り組んできた結果、本市の多くの特産品を提供できるようになっている。また、昨年度から庁内関係部署で構成するプロジェクトチームを設置し、魅力ある返礼品の充実等に取り組んでいる。今後も独自財源の確保や地域経済の活性化が図られるよう、当該制度を最大限に活用していく。

JR久留里線

Q JR東日本の株式取得について、岡山県の真庭市では令和6年度の予算でJR西日本の株式取得のための予算が、約一億円計上されている。資産対利益が15%を超えるエクセレント（優良）企業の株式の取得を、資産の持ち方を現金から株式に変えることで交渉力は上がっていくものと考えられるが、見解を伺う。

A 市場での上場株の取得については、価格変動もあることから、公金を扱う上では、安全性を考慮しなければならない。



公明党
高橋 健治 議員

高橋 健治 議員

君津市防災アプリ

Q 防災アプリ内のコンテンツを増やすことは可能か何う。

A 利用者の満足度や意見を聞くアンケートを実施している。アンケート結果を踏まえ、コンテンツの充実等について検討していく。

食品ロス削減推進計画

Q 食育の観点から給食の食べ残しなど、学校においても食品ロス削減は大事なことを考える。教育現場での食品ロスに対する取組について何う。

A 授業で食品ロスについて取上げ、問題点、環境への影響、削減への取組などについて意見交換を行うとともに、調理実習の際に出た生ごみを計量するなど、興味や関心を引き出すような取組を行っている。また、中学校合同生徒会では、SDGs活動に取り組んでおり、各学校で生徒会が中心となって様々な活動を行っている。

国道410号

Q 国道410号久留里馬来田バイパスの供用開始により、俵田地先から久留里市場地先間が、県から本市へ移管されるが、今後の管理について何う。

A 県が舗装や区画線の引き直しに向け設計を進めており、本年度中に補修工事が完了する見込みで、工事完了後に移管を受ける予定である。



創政会
保坂 好一 議員

保坂 好一 議員

保護者からの預り金の行方

Q 令和5年3月に周西南中で起きた着服事件について、市民の税金を使用していることから状況を報告すべきと考える。弁護士との話し合いや警察関係への働きかけ、返済の状況を何う。

A 着服行為を行った元職員からは、これまで4回にわたり、計16万円の返済を受けている。しかしながら、元職員の破産手続き開始通知書が6月3日に千葉地方裁判所木更津支部より届いたことから、今後、債権回収に向けた手続きを顧問弁護士と協議を重ねながら進めていく。

大規模災害の際に必要な水の確保

Q 飲み水を備蓄している家庭は多いと思うが、トイレなどに使用する分の水は確保されていないと考える。停電中は水道の供給も困難であり、防災井戸の確保は必要だと考えるが、見解を何う。

A 市民の皆様には、最低一人、1日3リットルの飲料水を3日から1週間分程度、備蓄することともに、トイレなどで使用する生活用水についても確保いただきたい。また、市内5か所に防災井戸を整備しているが、市内全域を賄う十分な量を確保することは難しいことから、個人等が所有している井戸を大規模災害時に、地域の方の生活用水として提供いただけるよう、取組を進めていく。



諸派・日本共産党
三浦 道雄 議員

三浦 道雄 議員

市長の政治姿勢

Q 重点的取組として子育て、教育、住まいに資することとしているが取組状況を何う。

A みふねの里保育園を開園するとともに、保護者の就労形態の多様化に対応するため、7月からの休日保育の開始に向けた準備を進めている。

Q JR久留里線沿線地域交通検討会議での市の立ち位置と会議に臨んでいる政治姿勢を何う。

A 地域にとつてよりよい公共交通がどういったものなのか、引き続き丁寧な議論をしていく。また、皆様の久留里線に対する思いをしっかりと受け止めさせていただく。

Q 久留里線を利用した地域の活性化について見解を何う。

A 沿線の活性化は重要であり、JRや千葉県等を含め活性化協議会を構成し、沿線の活性化に取り組んでいる。
Q 学校給食費無償化は、市長の決断で実現可能と思うが、なぜ決断できないのか本意を何う。
A 教育施策は自治体間で格差が生じないように、国の財源と制度設計により取り組むべきものと捉えている。

新井総合施設株式会社の動向

Q 第3の2の2処分場が間もなく供用開始と聞くと、第3期処分場全体の進捗よく状況を何う。

A 第3期増設事業は、第3の2の2処分場の建設工事が終了し、当該事業すべての完了は年内を目途としている。



公明党
野上 慎治 議員

住民ニーズに応じたコミュニティバスの改善を！

Q 利用者の細かいニーズに応えることが利便性を高め、利用者増加につながる。学校評議会のような仕組みを作るのはいかがか、見解を伺う。

A 様々な意見があることは承知しており、今後、コミュニティバスの再編などに取り組み際には、住民との意見交換の場を設けることも必要と認識している。

ごみの戸別収集をした場合の費用について伺う

Q ごみの戸別収集により、ごみ出しのマナーが向上し、まちがきれいになったなどの声もある。戸別収集の必要経費について伺う。

A 県内外の自治体の事例を調査したところ、移行前と比べ、二倍から五倍の経費となり、二倍になると仮定すると、約七億二千万円となる。

旧周西幼稚園・旧大和田小学校の有効活用を！

Q 旧周西幼稚園は、未だ活用されておらず、また、周西の丘小学校の移転により空き校舎が生じるが、両施設の活用について伺う。

A 旧周西幼稚園は、土地の権利関係の整理や市場調査などを行い、地域の特性に合った利活用の検討を行ってきた。来年度に公募できるよう準備を進める。また、空き校舎についても、来年度の公募を見据え取り組む。



創政会
下田 剣吾 議員

高齢者、若者が運動を楽しむ場所守って

Q 児童福祉施設を誘致するため、貞元仮運動場でスポーツをしてきた市民の皆様が困っている。また君津中央公園では禁止されているスケートボードをやりたい市民が増え混乱している。いずれもきちんと対応すべきと考えるが見解を伺う。

A 君津中央公園はルールの周知や注意喚起を強化する。スケートボードなど行う場所については内みのわ運動公園リニューアル事業で検討する。貞元仮運動場は児童発達支援センター誘致のため5月で利用停止した。サッカーやパークゴルフなど8団体は市内外の場所を確保し、グラウンド・ゴルフの団体は現在、代替施設を検討している。

Q 利用者が市外に行くこと、早い利用停止は納得できない。工夫すれば高齢者の方の毎日、毎週の楽しみを一年は続けることができたはずだ。内みのわリニューアルは5年後、それまでスケートボードをやりたい方はどうすれば良いか伺う。

A そうした市民が増えているのは認識しているが、今は、安全にできる公共施設がない。

大手民間企業で活躍した人材を採用

Q 大手民間企業で活躍した人材を採用し本市の魅力の広報・宣伝を進めているが成果を伺う。

A 大手広告会社の第一線で活躍し、京都府亀岡市で行政経験を積んだ人材を令和5年度に採用。さかなクンと市長の対談やイベントを開催。ふるさと納税強化や職員研修等も指導している。



令和新政
天笠 等 議員

神門コミュニティセンター

Q 神門コミュニティセンターは、令和12年度までに除却する方針とされているが、具体的な経過及び今後の進め方について伺う。

A 住民の皆様からは、温泉施設の存続を求める声が多く、改めてこの温泉施設が神門地区の大切な財産であると認識している。温泉施設を幅広く活用していただくため、サウンディング型市場調査を実施して、質、量、財政負担の最適化を図りつつ、民間活力の導入により、存続できるよう取り組んでいく。

神門地区の生活道路の整備

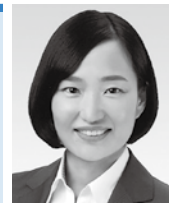
Q 神門地区の近年の道路整備状況及び今後の見通しについて伺う。

A 狭隘な生活道路28路線の幅員を4メートルに拡幅する事業として令和4年度までに4路線が完了し、本年度から、3路線の路線測量、詳細設計業務に着手しており、今後、自治会と協議の上、順次整備を進めていく。

文化振興

Q 彩り豊かな芸術・文化を身近に感じるまちを目指して、8万余の市民が輝き、幸せつなぐ君津市を作るべきだと考えるが、見解を伺う。

A 幅広い年代の市民が文化・芸術活動に参加できる環境づくりとして、市民団体の活動支援のほか、市民文化ホールでは、多種多様なジャンルのコンサート、本市の文化資源である松本ピアノを活用した事業、映画、落語、演劇などのプログラムを今後も展開していく。



諸派・希望にみらい
林 祥子 議員
はやし さちこ

市内の産業廃棄物処分場

Q 多くの市民が新井総合施設株式会社と環境協定を締結して、君津市が本件処分場の問題解決に向け、努力している姿勢を示すことを望んでいるが、見解を伺う。

A 市及び市議会では、水源地に立地している同社処分場については、第1期処分場から一貫して反対の姿勢であることから、環境協定は締結していない。

オーガニック給食

Q 子供たちの安全・安心な給食のため、まずは味噌や醤油などの調味料を国産の昔ながらの製法のものにして欲しいが、見解を伺う。

A 調味料は国内製造品を優先し、地元産の大豆を原材料とした従来の製法による味噌も使用している。今後も、安全・安心な給食提供に努めていく。

薬害が起きているワクチン接種

Q 2024年4月17日、新型コロナウイルスワクチン接種で健康被害を受けた方の国への集団訴訟が始まったが、本市での健康被害相談件数について伺う。

A 国の健康被害救済制度の申請件数は、全国で1万1,134件、そのうち認定件数は7,354件となっており、本市では申請件数が10件、認定件数は2件となっている。

特別委員会を設置しました Topics

令和6年第2回定例会招集日（5月31日）に、公共交通及び公共施設等調査特別委員会・地域共生社会推進特別委員会の設置について、それぞれ議員発議により議案が提出され、全会一致で可決されました。

公共交通及び公共施設等調査特別委員会

発議案第2号

委員名簿（定数11人）

◎委員長 ○副委員長

- ◎石上 壘 ○保坂 好一 ・満武 琢也
- ・天笠 等 ・四宮 安彦 ・鶴岡 一成
- ・鈴木 高大 ・佐藤 葉子 ・三浦 道雄
- ・高橋 明 ・三浦 章

▼設置の目的

公共交通は市民の重要な移動手段であり、便利で賑わいのあるまちづくりに欠かせないため、各交通モードの利便性の向上を図るとともに、社会情勢の変化に対応した持続可能な交通体系を構築することが重要です。

また、公共施設の再整備にあたっては、市民ニーズを的確に捉えるとともに、より効率的に整備を進められるよう、民間活力の導入や建設手法等について、議会としても調査研究を進める必要があります。

以上のことから、持続可能な公共交通体系の構築及び公共施設の再整備等について調査研究を行うことを目的として設置しました。

▼調査事項

- (1) 持続可能な公共交通体系の構築に関する事項
- (2) 公共施設の再整備等に関する事項

地域共生社会推進特別委員会

発議案第3号

委員名簿（定数10人）

◎委員長 ○副委員長

- ◎野上 慎治 ○松本裕次郎 ・林 祥子
- ・小倉 広紀 ・大和ヒロシ ・大滝 浩介
- ・高橋 健治 ・奈良輪政五 ・下田 剣吾
- ・小林喜久男

▼設置の目的

少子化や社会構造の変化により、これまで地域の相互扶助や家族同士により行われてきた助け合いの関係性が薄れ、ひきこもりやひとり暮らしの高齢者の孤立化、生きがいの喪失などが課題となっています。

また、人々が抱える生活課題は多様化・複雑化しており、分野ごとに縦割りで整備された公的支援制度の下では対応が困難なケースが現れています。

地域共生社会の実現には、公的支援の「縦割り」から「丸ごと」への転換や支援を受ける側を支援する側に育てるといった発想の転換が必要であるが、その理念が十分浸透しているとは言い難く、理解を深めながら実現に向けた取組を行っていく必要があると考えられます。

以上のことから、地域共生社会の推進について調査研究を行うことを目的として設置しました。

▼調査事項

地域共生社会推進に向けた取組等に関する事項

総務常任委員会



下田 剣吾 委員長

審査案件(議案第2号、議案第3号、議案第6号から議案第10号)

議案第6号 国保診療所に 関する条例の改正

問 (内容) 国保松丘診療所及び国保笹診療所の管理を指定管理者に行わせるため、条例の一部を改正するもの。

答 土曜日が休診日となることによる利用者への影響を伺う。

答 松丘診療所については、土曜日の利用者が一日あたり平均10名程度と平日の半数程度であることなどから、影響は少ないものと考えられる。また、指定管理者制度への移行の際には、土曜日が休診日となることについて早めに関知していく。(全会一致で可決すべきもの)

と決定)

議案第10号(補正予算) キャッシュレス 決済を通じた 消費喚起事業

問 事業効果について伺う。

答 ポイント還元キャンペーンへの参加店舗数は、前回の令和4年度から130店舗以上増え、767店舗となり、キャッシュレス決済利用額は、実施前の月が約2億3千万円であったのに対し、実施月は約4億5千万円であったことから、約2億2千万円の経済効果があった。

防災倉庫整備事業

問 購入を予定する資機材について伺う。

答 君津中学校内にコンテナ式の防災倉庫を新たに設置し、発電機、LED投光器及びコードリールの購入を予定している。(全会一致で可決すべきもの)と決定)

教育福祉常任委員会



高橋 健治 委員長

審査案件(議案第4号、議案第5号、議案第10号、議案第11号、陳情第1号、陳情第2号)

議案第4号 家庭的保育事業等 の設備及び運営に 関する条例の改正

問 (内容) 法改正に伴い、小規模保育事業所等の保育士及び保育従事者の配置基準を改めるため、条例の一部を改正するもの。

問 小規模保育事業における3歳以上の児童の受入れに関する課題について伺う。

答 小規模保育事業所は2歳以下に特化した保育で、施設規模も小さく、ほとんどの施設が園庭や遊戯室がない。また、3歳以上の児童とは発達段階により保育の内容が

大きく異なることなどを課題として認識している。(全会一致で可決すべきもの)と決定)

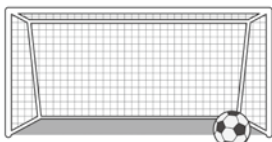


教育費

問 設置する遊具や学校などの選定について伺う。

答 令和5年度に採納した寄附金を活用し、ブランコについては、設置されていない小学校、サッカーゴールについては活動の頻度や劣化度合いなどから、グラウンドピアノについても劣化度合いから優先度の高い学校を選定した。

(全会一致で可決すべきもの)と決定)



建設経済常任委員会



鈴木 高大 委員長

審査案件(議案第10号)

議案第10号(補正予算) 郡ダム湖面活用 推進事業

問 補助を行う施設の概要について伺う。

答 本事業は、高齢者や女性等を含めた多様な農業従事者の確保のため、働きやすい職場環境の整備に対して、県が補助するもので、本補正予算については、外国人を雇用するための居住施設を予定している。

(全会一致で可決すべきもの)と決定)

農業雇用労働力 対策就業環境整 備事業

問 本事業の予算の使途について伺う。

答 着替えや休憩のためのプレハブ施設、ライフジャケットやヘルメットの購入、指導員の増員等を予定している。



問 水上スキー体験教室の内容について伺う。

答 水上スキーの選手等が指導者となり、水上スポーツなどの水に親しむ機会を提供するもので、貞元小学校の3年生以上の希望する児童を対象に実施する予定である。



全国市議会議長会 永年在職議員表彰



永年にわたり、地方自治の発展と市政の進展に貢献され、君津市議会の正副議長として4年間ご尽力された三浦 章 議員が表彰を受けられました。

【正副議長 4年以上 一般表彰】三浦 章 議員

行政視察で本市を訪問

職員自らがドローンを操縦し、橋梁点検を行うことで予算の縮減、橋梁の健全性を判断する先進的な取組である「君津モデル」を調査するために本市を訪れ、職員からの事業説明の後、実際に橋梁点検の様子を見学されました。

5月16日 栃木県さくら市
7月9日 大分県佐伯市



栃木県さくら市



第45回千葉県消防協会 君津支部消防操法大会

6月29日

君津市の代表分団として、第3分団（ポンプ車の部）と第32分団（小型ポンプの部）が出場し、日頃の訓練の成果を披露し、大会ではどちらの分団も優秀賞に輝きました。

市議会からは、小倉議長をはじめ、関係市議会議員が出席しました。

議会本会議を配信しています！

本会議のライブ配信・録画配信を行っています。また、本会議の翌日（土日祝日を除く）に速報版として無編集の録画映像を見ることができます。ぜひ視聴ください。

配信内容 定例会及び臨時会の本会議

注意 速報版は無編集の映像となっています。本会議後おおむね7日以内に議事日程や一般質問の議員ごとに編集した映像への切り替えを行います。
配信内容は公式記録ではありません。視聴の際は、配信ページ内の注意事項を必ず確認してください。

アクセス方法 ①君津市議会ホームページの左下にある「インターネット中継」をクリック

②左側に「本会議ライブ中継」「本会議録画配信」等のメニューが表示されますので、視聴したいページを選択し、ご視聴ください。

☆スマホ・タブレットからでも
ご視聴いただけます。
通信費は利用者の負担に
なります。



令和6年 第3回定例会 9月3日(火) 開会予定です



きみつ市議会だより編集委員

- 委員長／高橋 明
- 副委員長／下田 剣吾
- 委員／高橋 健治
- 委員／鈴木 高大
- 委員／奈良輪 政五

- 発行／令和6年8月1日
- 編集／きみつ市議会だより編集委員会
〒299-1192 君津市久保2-13-1 君津市議会事務局
- TEL 0439-56-1497
- URL <https://www.city.kimitsu.lg.jp/site/gikai/>